

テーマ：本当に「みんな」なの？ ～わが子からのプレッシャー～

ねらい

子どもの側から発信される情報は多分に「子どもの都合」が含まれています。実際の場面を思い浮かべながら、子どもの言葉と親子のコミュニケーションについて考える。

時間	主な活動	留意点
2	<p>【はじめに】</p> <p>ある日、子どもから「みんな～なんだよ」や「～って普通だよ」と言われて、要求や反論をされた経験はありませんか。その時に、どのように感じ、対応したでしょうか。子どもにありがちな「みんな～」はコミュニケーションのチャンスとも考えられます。みなさんの経験を出し合い、共有しましょう。</p>	
8	<p>【アイスブレイク（例）】</p> <p>①2人組（ペア）を作り、簡単な自己紹介をする。 ②最初に5秒間見つめ合う。小休憩の後、10秒間見つめ合う。最後に、20秒間見つめ合う。そして感想を交換する。</p>	<p>①よく知らない人同士が望ましい。 ②座席は90度の角度くらいが望ましい。休憩の際には目は合わせないようにする。</p>
5 15 5 5	<p>【アクティビティ】 <u>準備物：ワークシート</u></p> <p>①「みんな～を持ってるんだよ」といって、「おねだり」や「強い要求」をされたエピソードを記入し、その時の親としての気持ちや対応も記入する。（場合によっては、「みんな～やってるよ」も一緒に記入する。） ②記入内容をグループ（G）で共有する。 ③子どもの言葉にどのように耳を傾け、対応したらよいかG内で相談して、それぞれ納得したものを一番下のスペースに記入する。 ④全体発表（2～3Gが代表して。）</p>	<p>①思い浮かばなくて困っていきそうな時は、もう少し例を増やすか、少しグループで話をしてもらおうと案外出てきたりする。 ②しっかり話してもらいたいが、発言が偏らないように声を掛ける。相互に質問し合って、深めることが望ましい。 ③気づきは別々でもよい。</p>
8	<p>【ふりかえり】</p> <p>①今日のワークショップで感じたこと、気づいたことをGにて共有する。</p>	<p>①グループ内、全体発表、どちらの気づきでもよい。</p>
2	<p>【まとめ】</p> <p>今日は、子どもの「みんな～なんだ」という語りかけについて考えてもらいました。保護者としては、つい子どもに辛い思いや恥ずかしい思いをさせてはいけない、と思いがちです。しかし、学校での客観的な状況は把握しておいた方がよさそうですね。保護者同士の情報共有も、時として必要なことがご理解いただけたのではないのでしょうか。</p>	